

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要（小学校）

1 調査の概要

- 実施日 令和4年4月19日（火）
- 調査方式 悉皆調査
- 調査対象 小学校6学年の児童
- 実施状況 実施学校数 3校
実施児童数 35人

2 教科別学力調査結果概要

(1) 国語

言葉の特徴や使い方に関する事項	やや課題がある。
我が国の言語文化に関する事項	やや課題がある。
話すこと・聞くこと	やや課題がある。
書くこと	理解できている。
読むこと	やや課題がある。
知識・技能	やや課題がある。
思考・判断・表現	やや課題がある。
選択式問題	やや課題がある。
短答式問題	やや課題がある。
記述式問題	理解できている。
全体として	やや課題がある。

(2) 算数

数と計算	理解できている。
図形	課題がある。
変化と関係	課題がある。
データの活用	理解できている。
知識・技能	やや課題がある。
思考・判断・表現	課題がある。
選択式問題	理解できている。
短答式問題	やや課題がある。
記述式問題	課題がある。
全体として	やや課題がある。

(3) 理科

「エネルギー」を柱とする領域	理解できている。
「粒子」を柱とする領域	やや課題がある。

「生命」を柱とする領域	やや課題がある。
「地球」を柱とする領域	やや課題がある。
知識・技能	理解できている。
思考・判断・表現	やや課題がある。
選択式問題	やや課題がある。
短答式問題	理解できている。
記述式問題	やや課題がある。
全体として	やや課題がある。

3 今後の取り組み

(1) 国語

日常的に既習の内容について繰り返し学習の時間や機会をもたせる。
話を聞いてメモを取り、メモをもとにまとめて話す時間を設ける。
順序立てて簡潔に話したり書いたりするように支援する。
話し合い活動を計画的に取り入れ、話し合いの経験を積み重ねる。
描写や表現方法に着目して丁寧に読み取る活動を取り入れる。
継続的に読書の時間を設ける。

(2) 算数

繰り返し課題に取り組んだり、機会を捉えてフィードバックしながら取り組む。
数値や空間関係などがイメージできるように図示させる。
買い物などを想定し、百分率を用いた問題を取り入れイメージを持たせる。
身近な生活場面に置き換えて考えさせる。
文章で記述させたり筋道を立てて説明させて言語活動の機会を増やす。
思考過程を記録させ説明する機会を増やす。
求め方や式の意味を理解させる。
自分の考えを図・絵・式・文などで書いて表現させる。

(3) 理科

実験や観察の目的を明確に明示し、意識して実験や観察を進められるよう支援する。
結果から分かったことを自分の言葉でまとめる時間を設ける。
身の回りに事前現象について関心を持たせ、既習の事柄について、日常生活の中で関連させながら適宜取り上げる。
実験の結果を分析するときに、自分や他者の気づきを明確にし、相違点や共通点を捉え、問題を見いだす場面を設定していく。